

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 biweekly Cetuximab+mFOLFOX6療法 (ワンバック)
疾患名	大腸癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	住井 遼平
適応	RAS遺伝子野生型の大腸癌

臨床区分

- 日常診療
- 単施設自主研究
- 他施設自主研究
- 市販後臨床研究
- 治験

抗癌剤適応分類

- 進行・再発化学療法
- 術後化学療法
- 術前化学療法
- 局所療法
- その他

登録日	2026年3月4日
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	レスタミンコーク錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パロプロセトロン静注用0.75mg デキササード注射液 6.6mg	1 1	瓶 瓶														
4	生理食塩液	300	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7-ピタックス投与終了後、1時間は経過観察すること。 2回目以降は経過観察を省略可能
	アーピタックス注射液	500	mg/m2														
5	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時
	レボホリナート点滴静注用	200	mg/m2														
6	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時
	オキサリプラチン点滴静注液	85	mg/m2														
7	フルオロウラシル点滴静注	400	mg/m2	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチン終了後 15分以内で投与終了
	生理食塩液	50	mL														
8	フルオロウラシル点滴静注	2400	mg/m2	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ワンバック (46時間)
	ソルデム3A輸液	2000	mL														
9																	

備考欄

--

文献

Comparison Between Biweekly and Weekly Cetuximab in Patients With Metastatic Colorectal Cancer:A Meta-analysis
--

減量・中止基準

mFOLFOX6, FOLFIRIにおいては同レジメンにおける注意を参照

<Cetuximabの減量基準>

Grade3以上の皮膚障害の発現回数	本剤の投与	本剤投与後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目発現時	投与中止	-	-